

第2弾

やわたはま防災情報 今、私たちにできること



いつ、どこで起こるか分からない災害。
普段の備えが、もしもの時に役立ちます。
災害が起こった時に、自分を、家族を守るために。
防災に関する情報をまとめました。

5段階の警戒レベル

警戒レベル	防災情報	取るべき行動
5	災害の発生	既に災害が発生している状態。命を守る最善の行動を。
4	避難勧告・指示	全員避難！
3	避難準備の情報	高齢者等は避難！
2	注意報	避難行動の確認
1	警報急の可能性	心構えを高める

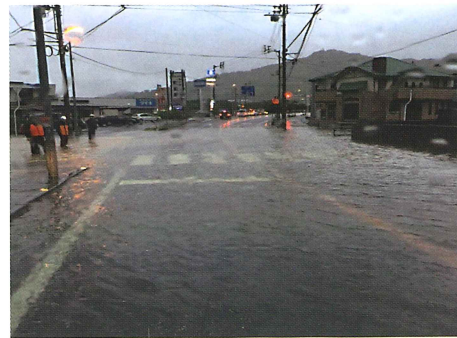
危険度

日頃から備えていますか？ ～命・暮らしを守るためのポイント～

H30.7 豪雨 八幡浜市及びその周辺の被害状況

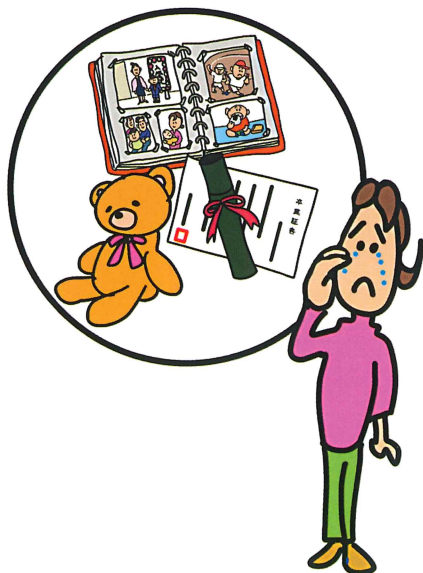
平成30年6月28日～7月8日にかけて西日本を中心に全国的に雨が降り続き、愛媛県では、人的被害30名、被災家屋が全壊～床下浸水まですべて含めて7,508世帯が被災しました。

八幡浜市においても、総雨量397mmが降り、全壊～床下浸水まですべて含めて375世帯が被災しました。その内、約43%が罹災証明を提出されました。幸いにも本市には、人的被害はありませんでした。自助・互助の部分で、早期の呼びかけあいや異変の察知で、九死に一生を得た方もたくさんいました。



平成30年7月豪雨で聞こえた声

- ・ 雨の音で防災無線が聞こえなかった。
- ・ 高齢夫婦。垂直避難をしたが、身体が不自由でとても時間がかかった。
- ・ 増水した河川を気にしていたが、側溝から水があふれてきた。
- ・ 河川を気にしていた。まさか裏山が崩れてくるとは思わなかった。
- ・ 避難場所（地区公民館）に避難したが、防災備品の場所などが分からない状態だった。
- ・ 指定避難場所への避難ができなかった。



- ・ 災害ゴミを捨てることが困難だった。ゴミ袋がなんでも良いことをしらなかった。
- ・ 思い出の品(アルバム等)がなくなった。
- ・ 大規模に被災した私。念のため避難してきた人と同じ空間で過ごすのは、つらかった。
- ・ ストレスを感じた。
- ・ 体調不良となった(ヘルペス等)
- ・ 被災後の手続きが複雑で、難しかった。
- ・ 日頃から近所と顔の見える関係を築いておくことが大切だと感じた。

風水害から身を守るために

気象情報を確認しましょう

テレビやスマートフォン、パソコンなどで、雨雲の動きや雨量などの情報をこまめに集めましょう。



河川や側溝には近づかない

河川の様子は気になりますが、鉄砲水なども心配です。戸別に設置された防災無線を聞きながら、河川には近づかないようにしましょう。



増水してから運転はしない

増水後の運転は危険です。平時に車を避難できる場所を確認しておく、安心です。



緊急時は垂直避難！

すでに増水が始まっているとき、避難場所へ行くのが困難な時は、2階以上へ上がりましょう。



私の避難行動（台風・豪雨の場合）

時間	できごと例	行動例	私・家族の行動 (書き込んでみましょう)	警戒 レベル
数日前	テレビで台風接近(豪雨予報)を知る。	家族の予定を確認。 避難袋の確認。		1
1日前	雨が強くなる。 大雨・洪水注意報が出る。	避難経路の確認。 インターネットで近隣の河川水位を確認。		2
半日前	大雨・洪水警報が出た。避難準備の情報が出た。	着替える。 携帯電話・スマートフォンを充電。		3
5時間前	避難勧告が出た。	家族と避難場所へ避難。 避難袋を持っていく。		4
2時間前	避難指示が出た。	家や車に戻らない。		5
災害発生	河川が氾濫。			5

ポイント

自分の住んでいるところが、どれくらい(何mm)の雨量で危険になるのか、緊急時にはどのように連絡を取り合うのかなど、平時から家族で・地域で話し合っておきましょう。



日頃からチェックしておこう

地域のことを知ろう

自分の今住んでいる地域の地形や歴史(昔田んぼだった等)を知ることが、災害の備えにもなります。ハザードマップの確認もしておきましょう。



家族で話し合っておく

緊急時の連絡手段や、役割分担を決めておくことで、落ち着いて行動することができます。

非常持ち出し袋チェックリスト(大人2人分の目安)

- 飲料水(500ml) 6本～
- 長期保存食材(缶入り乾パン等) 2個
- 懐中電灯 2個
- ライター 1個
- 携帯ラジオ 1台
- 軍手・手袋 2組
- レジャーシート 1枚
- 十徳ナイフ 1本
- ロープ 1本
- モバイルバッテリー(充電済み) 2個
- タオル 4枚～
- ポリ袋 10枚
- トイレットペーパー 1個
- 布ガムテープ 1個
- 筆記用具(油性マジック含)1セット
- 現金(公衆電話用小銭) 50枚
- 生理用品
- 身分証明書(保険証控え)

救急用品

- 常備薬・持病薬
- ばんそうこう 1箱
- 包帯 2巻
- 三角巾 2枚
- ガーゼ(滅菌) 2枚
- 消毒液 1本
- 毛抜き 1本

ウィルス感染に備えて

- 体温計 1本
- 手指消毒液 1本～
- ウェットティッシュ 2個～
- マスク 4枚～

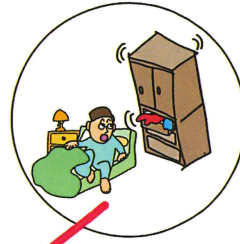
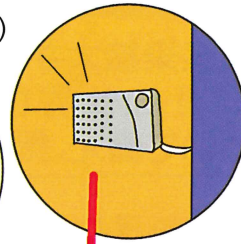
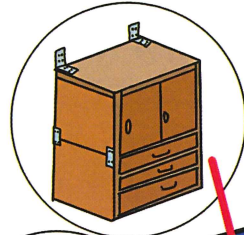
※緊急時は、お薬手帳、処方箋、介護保険受給者証、障害福祉サービス受給者証を持ち出しましょう。受診時などに、安心です。



普段から気を付けておきたいこと

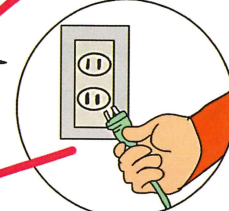
戸別受信機の確認
(現在市内全世帯を対象に設置中です)

家具を固定する



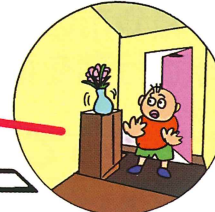
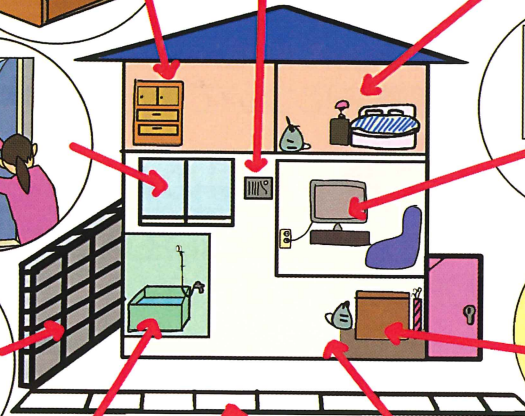
寝室には大きな家具を置かない

窓などのガラスに飛散防止フィルムを張る



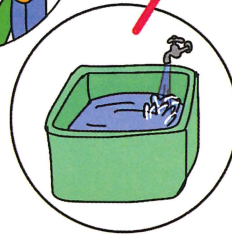
危険個所の点検をする(コンセントを抜いておく等)

ブロック塀など危険箇所を点検しておく



出入口付近に倒れやすいものを置かない

断水に備えて浴槽に水を張っておく



側溝の掃除をしておく



非常持ち出し袋を2~3か所に置いておく

家庭に備えておくもの

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水
合計3ℓ以上:500mlペットボトルが望ましい) | <input type="checkbox"/> タオル・バスタオル |
| <input type="checkbox"/> 非常用給水袋 | <input type="checkbox"/> 予備乾電池 |
| <input type="checkbox"/> 長期保存食材(缶入り乾パン等) | <input type="checkbox"/> 卓上コンロ・ガスボンベ |
| <input type="checkbox"/> 缶詰 | <input type="checkbox"/> 皿・コップ(紙・ステンレス等) |
| <input type="checkbox"/> レトルト食品 | <input type="checkbox"/> 割りばし |
| <input type="checkbox"/> スープ | <input type="checkbox"/> スプーン・フォーク |
| <input type="checkbox"/> ビスケット | <input type="checkbox"/> ラップ・アルミホイル |
| <input type="checkbox"/> キャンディ | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ |
| <input type="checkbox"/> 塩 | <input type="checkbox"/> 石鹸 |
| <input type="checkbox"/> チョコレート | <input type="checkbox"/> ドライシャンプー |
| <input type="checkbox"/> インスタントラーメン | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> インスタント味噌汁 | <input type="checkbox"/> 安全ピン |
| <input type="checkbox"/> 衣類(上着・下着・靴下) | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 |
| <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ | <input type="checkbox"/> ブルーシート |

避難のしかたと、避難先について

監修：市役所総務課危機管理室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されるなか、地震や大雨、高潮など、災害はいつ起きるか分かりません。災害から命を守るために、避難所における感染拡大防止のため、次の点について備え、気を付けましょう。

1. 避難先を事前に話し合い、考えておきましょう (分散避難)

ハザードマップなどで、事前に自宅周辺の災害リスクや取るべき避難行動を確認し、家族などで避難先について十分話し合いましょう。

2. いつ逃げますか？自分に合った早めの避難を (迅速避難)

気象情報や市の災害・避難情報などに注意して、早めに避難をしましょう。命を守る行動を最優先にしてください。

3. 衛生用品を持って避難しましょう (衛生用品の持参)

自宅にある「マスク」「体温計」など、避難所などに必要な衛生用品は、なるべく持参するようにしましょう。マスクを持っていない場合は、鼻と口を覆える大きさのタオルや手拭いなどが代わりに使えます。



4. 避難所では自分で衛生管理と体調管理をしましょう

手洗い・消毒、咳エチケット、毎日の体調のチェックなどを徹底することで、感染リスクを減らし、自分と家族の身体を守りましょう。

記入して、備えましょう

どこに避難しますか？

①時間にゆとりのある時

②緊急時

避難したことを誰に伝えますか？

もしもの時に

①気にかける人

☎

-

-

さん

☎

-

-

さん

②気にかけてくれる人

☎

-

-

さん

☎

-

-

さん

もしも、災害が起きたら

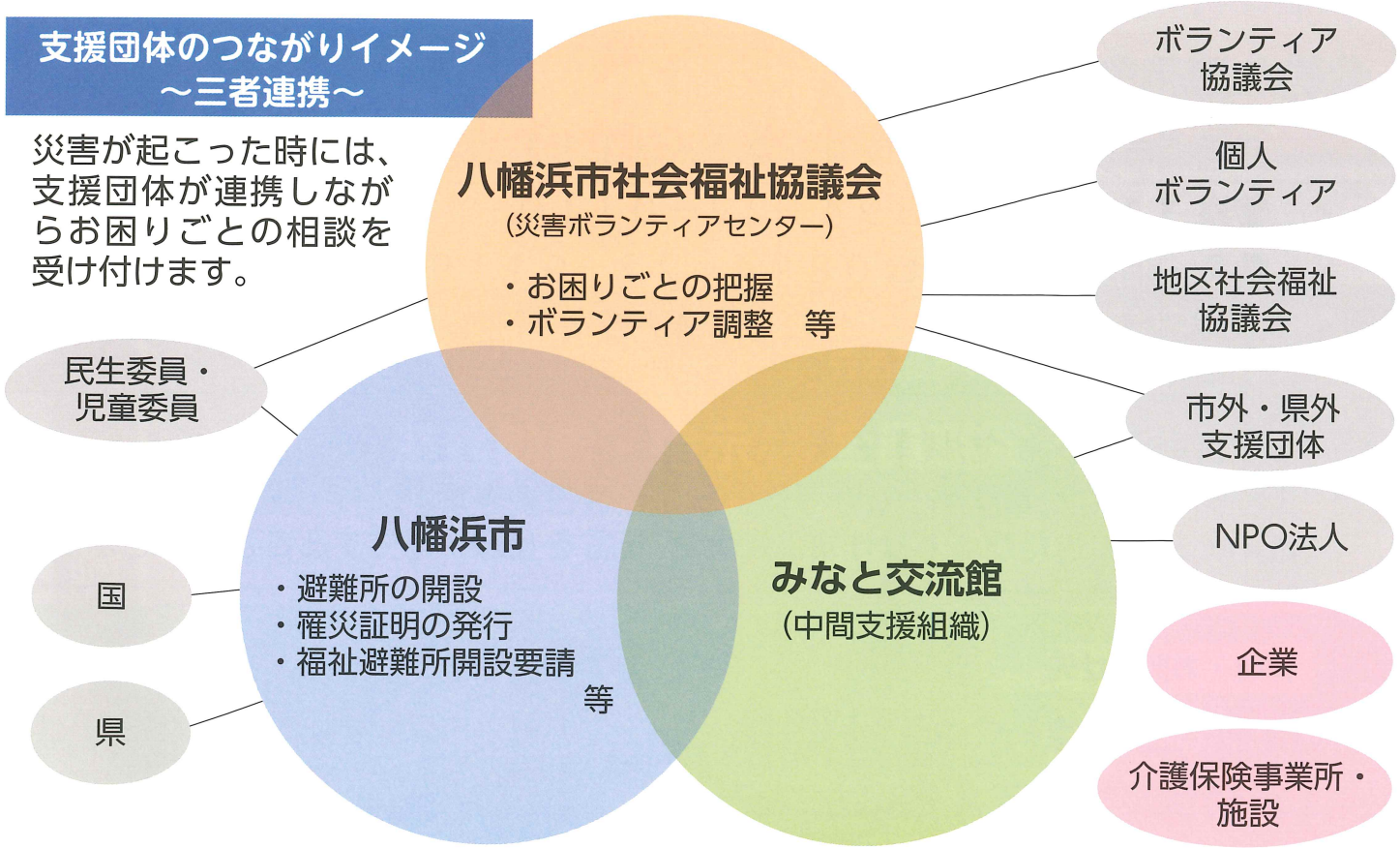


家が被災した！
片付けを手伝ってくれる人・ところは…

<input type="checkbox"/> (例)〇〇工務店の〇〇さん ☎ 090 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 <input type="checkbox"/> ☎ - - <input type="checkbox"/> ☎ - -	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ☎ - - <input type="checkbox"/> ☎ - -
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ☎ - - <input type="checkbox"/> ☎ - -	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ☎ - - <input type="checkbox"/> ☎ - -

支援団体のつながりイメージ ～三者連携～

災害が起きた時には、支援団体が連携しながらお困りごとの相談を受け付けます。



もしもの時の、連絡先

八幡浜市社会福祉協議会 ☎0894-23-2940

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域福祉を推進する団体です。



市社協 Facebook

災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターは、ボランティアの活動を円滑に進めるために、被災地に設置される拠点です。被災した地域や住民の困りごとの把握、ボランティア受け入れの窓口となります。

自分の住む地域の場所・人の連絡先

- ・ 公民館 ☎ - -
- ・ 民生委員・児童委員
さん ☎ - -
- ・ 見守り推進員
さん ☎ - -
- ・ ご近所
さん ☎ - -
さん ☎ - -

公的な連絡先

- ・ 八幡浜市役所 ☎ 0894-22-3111
- ・ 警察 110 ☎ 0894-22-0110
- ・ 救急・消防 119 ☎ 0894-22-0119
- ・ 地域包括支援センター ☎ 0894-24-3918 (高齢者のご相談)



災害用伝言ダイヤル 171

大災害発生時は、電話がつながり難い状況が数日続きます。「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって操作することで、伝言を登録・再生することができます。

作成・お問合せ先

八幡浜市社会福祉協議会
(八幡浜市地域支え合いセンター)

〒796-0010
八幡浜市松柏乙1101番地
八幡浜市保健福祉総合センター 2階
TEL 0894-23-2940
FAX 0894-23-0506